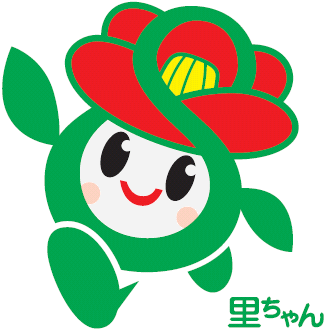
**～環境にやさしい　自然あふれるまち「さとしょう」を　未来の世代へ～**

**平成２７年４月から制度が一部変更となります！**



平成２７年４月

里庄町　町民課

**１　集団資源回収推進団体補助金の概要**

**○目的**

　自主的に集団資源回収活動を実施する地域団体に対して補助金を交付することにより、もってごみの減量化や環境問題に対する関心を高め、廃棄物を資源として積極的に有効活用することで、環境への負荷の少ない持続可能な循環型社会の構築を図ることを目的とします。

**○交付対象団体**

　継続的に活動している町内の営利を目的としないで、集団資源回収活動を自主的に行う団体で、事前に町に登録を受けたもの。

　（例）町内会、分館、PTA、子ども会、老人クラブ、スポーツ少年団　等

**○対象品目**

　補助金の交付対象となる品目は次のとおりです。ただし、**家庭から出されたものに限ります**。

　（１）古紙類（新聞・折込チラシ、雑誌、段ボール、飲料用紙パック、ざつ紙）

　（２）繊維類

　（３）びん類（一升びん、ビールびん、その他のリターナブルびん）

　（４）缶類（アルミ缶、スチール缶）

　（５）その他有価物

　※商店や事業所から受け取ったものは対象とはなりません。

　※町が資源ごみとして分別収集する日にごみステーション等へ出されたものは集めないでください。

**○補助金額**

**①回収重量に応じた補助金**

資源回収量**１キログラムにつき「６円」**として算出します。

（１キログラム未満の端数は切り捨て）

　　※びん類を本数で買い上げる場合は、別紙の重量換算表により計算します。

**②回収回数に応じた補助金**

資源回収実施回数（再資源化業者への引渡回数）**１回につき「3,000円」**を支給します。

　　※月に1回を限度とします。

**○補助金の交付時期**

　補助金の交付は、年に２回（１０月と翌年度４月）に行います。

　　・４～９月実施分：10月末（10月15日までに報告）

　　・１０～３月実施分：４月末（３月31日までに報告）

**２　集団資源回収団体補助金交付までの流れ**

団体や地域の実情に合わせて、実施回数や取扱品目、集積場所などを相談して決めます。

　・回収した資源を引き渡す業者を選定します。

　・選定にあたっては、町の指定業者はありませんので、岡山県廃棄物再生事業

者を参考とするなど自らが選定に当たってください。

　・選定した業者と回収日時、取扱品目、集積場所、回収方法等をよく相談し

て取り決めます。

町へ集団資源回収実施団体として登録手続きを行います。

団体登録は、必ず集団資源回収の実施前に行ってください。

回覧板や地域の掲示板などで、団体の構成員や実施地域に集団資源回収の実施を周知してください。なお、周知する際には、必ず各地域の代表の方（分館長等）へ連絡を入れて了承を得てください。

資源回収活動を実施します。

・決められた日時・場所へ資源を持ち出し、品目別に整理します。

・引渡しの際にはできる限り立ち会い、品目や数量などを確認しましょう。

・集積場所として利用した場所の清掃を行いましょう。

・回収業者から「集団資源回収買上明細書」を作成してもらいます。

引渡業者に集団資源回収買上明細書を作成してもらい、仕切書、計量明細書等を添付して、補助金の交付申請兼実績報告書を町民課へ提出します。

【提出期限】４～９月実施分：１０月１５日、１０～３月実施分：３月３１日

提出された請求書記載の口座へ補助金を振り込みます。

**３　注意事項**

　■同一地域内で複数の団体が資源回収を実施する場合は、回収日や回収範囲などを調整してください。

　■家庭から出された資源が対象となります。事業所や店舗から排出されたものは対象とはなりません。

■町が行う資源ごみの分別収集日（第１～第４月曜日または水曜日）の実施はできるだけ控えてください。

　■町が分別収集している日にごみステーションへ出された資源を集団資源回収とすることはできません。

　■町の分別収集へ資源を出そうとしている人の排出を拒んだり、集団資源回収へ排出させるよう強要したりしないでください。

　■ごみステーションを集団資源回収実施場所として利用する場合は、町が分別収集している日を必ず避けてください。また、別の日に実施する場合でも、回収した資源物の取り残しがないよう万全の措置を講じるとともに、万一事故等が発生した場合には、資源回収実施団体の責任において処理し、町の収集の支障とならないようにしてください。

　■町が分別収集を行うために配置している回収コンテナやネットなどを集団資源回収には使用しないでください。

　■集団資源回収の実施日を地域の方へ掲示物や回覧等で周知する場合、町の収集日が変更になったと誤解を招く恐れのある表記はしないでください。

　■廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定により、一般廃棄物の収集・運搬・処分は市町村の責務とされています。このため、町民の方のごみ・資源物等の排出の機会を平等に確保する必要があります。

　　集団資源回収は、町が行う資源ごみの分別収集の他に、町民の資源物の排出機会を増やし、利便性の向上が図られるもので、町が行う分別収集と集団資源回収は区別しつつ、お互いを補完するものと考えています。

